

令和 8 年度

大阪大学

一般選抜（前期日程）

解答例又は出題の意図

英語 A

R8 年度個別学力検査等

英語 (A) 出題の意図

I (A)

人間の社会的営為の動物起源をテーマにした論説文の一節を取り上げ、指定された箇所の意味を的確に把握し、日本語で表現する力を見る。ここでは特に、広範な語彙力を持っているかどうか、非制限用法の *which* や前置詞化した *regarding*、また *facilitating*、*advanced* などの分詞を含む文の構造を正確に理解しているかどうか重要である。

I (B)

小説において登場人物が自分のいる世界を根本から再認識する瞬間と、現実の歴史を生きる人間が周囲で起きている悪夢的事態に気づく瞬間とを重ね合わせる論説文の一節を取り上げ、指定された箇所を日本語で表現させることにより、その比喩を適切に理解しているかどうかを見る。一度 *dream* と言いながらそれをカッコ内で *or nightmare* と言い加える機微、*scales fall from their eyes* という慣用表現、*characters*、*scales*、*plots* など多義を有する語の正確な読解などが重要である。

II

「人間以外の動物は芸術を作ることができるのか」という問いについて、複数の動物の事例を紹介しながら、哲学的観点や人間の文化活動との比較なども絡めつつ考察する論述を取り上げている。文中に出てくる重要な語句の意味を文脈から類推する問題、具体的なトピックの内容を正確に理解できているかを問う問題、やや抽象的な表現や筆者の考えを適切に理解し日本語で正確に説明することができるかを問う問題、本文全体の内容を踏まえて自分なりの考えを英語で正確に表現することができるかを問う発信型の問題を通して、英語読解・発信能力を総合的に評価する。

III

本問は発信力を問う問題である。単に post-truth とは何かを知っているかではなく、感情や信念に流されやすい社会で、物事の本質を把握する力を涵養するために、学問的な探究を通して求められる知性や技能について、自分なりの考えを述べる問題である。自分の学問的関心や現代社会の状況などと関連させながら、論点を適切に整理し、指定された語数の英語で具体的かつ論理的に述べることが求められる。

IV (A)

人間の音の知覚に関する記事の一部を取り上げ、その内容を適切な語彙を用いて英語で表現する能力を見る。日本語文章の内容を正確に理解するとともに、明瞭で自然な英語にするために必要な語彙力・文法力、そして文構造に注意を払いつつ論理的な英文を組み立てる力が求められる。

IV (B)

(イ) (文学部の志願者)

文学部志願者が入学後に触れることになるやや抽象的な文章の一例として、「わたし」という存在についての哲学的な文章の一部を取り上げている。日本語表現の意味を十分にくみ取って、論理的で自然な英語で表現するための語彙力や文章構成力を備えているかを確認する。

(ロ) (文学部以外の学部の志願者)

科学者が陥りやすい過ちと科学研究において真に必要とされる資質を論じた文章の一部を取り上げている。日本語文章の意味を正確に理解し、適切な語彙と正確な文法に基づいて自然でわかりやすい英語で表現する力が求められる。